

市民厚生委員会 視察報告

平成27年11月9日～11日に視察を行った。

東京都荒川区では、「子どもの貧困対策事業」について調査を行った。同区においては、子どもの貧困・社会排除の姿を「事例研究」の手法で調査研究し、その原因は経済的困窮に加えて保護者の病气、養育力不足などが複合的に絡んだ問題とされていた。専門相談員による家庭相談や教員経験者などによる相談・学習支援などの施策が全庁的に取り組まれていた。

東大和市では、「糖尿病等重症化予防等のレセプトデータを活用した保健事業」について調査を行った。同市では、レセプトデータ及び特定健診データを活用した医療費分析を行い、健康の保持増進と医療費適正化のため糖尿病等重症化予防を中心とした保健事業が行われていた。かかりつけ医と相談の上参加する糖尿病予防プログラムの参加勧奨、保健師などによる家庭訪問相談などが実施されていた。

稲城市では、「介護支援ボランティア制度」について調査を行った。この制度は、高齢者の介護支援ボランティア活動実績に応じてポイントを付与し、ポイントに対し年額最大5千円が交付されていた。介護支援ボランティアは活動の結果、介護予防効果が見込まれる活動や介護保険事業に関する活動が

対象要件とされていた。



東京都東大和市



東京都荒川区

地域建設委員会 視察報告

平成27年11月4日～6日にかけて、行政視察を行った。

大阪市淀川区では、「LGBT支援事業」を視察した。女性、男性の同性愛者などの性的少数者の人権を尊重し、理解を広げるために、全国初のLGBT支援を宣言した。特に子どもに対して、相談しやすい環境づくりに力を入れ、教育現場で絵本やホームルームの中でも取り入れて理解者を広げていた。その熱心な取り組みに、人権問題の認識として共鳴できた。

兵庫県神戸市では、「まちなか防災空地整備事業」を視察した。過去の大地震の教訓を生かし延焼の危険性改善のため、老朽木造建物の除去に満額の

補助をし、空き家、空き地に対しては、再生支援ネットワークを立ち上げて、アトリエに改修し、芸術活動支援、障害者の創作活動などの取り組みを行っていた。

注目すべきは、地震火災対策とまちづくりの将来像を運動させながら、安心安全な美しいまちを目指しているところである。

明石市では、「明石駅前南地区再開発事業」を視察した。大手店舗が撤退し、商店街の人通りも少なくなっている状況から駅前に34階建てのマンションも含めた大規模な再開発事業に取りかかっている。地元商店も参入し、図書館、子育て支援施設など、公営施設もあり、市民に期待されている事業である。2回のパブリックコメントがその裏付けとなっていると実感した。



兵庫県明石市



大阪市淀川区

編集後記

2月3日は節分でしたが、皆さんは豆まきをされましたか。節分とは、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことですが、立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を指すようになったそうです。子どもが小さい頃、「鬼は外!福は内!」と鬼の役になって痛かったのも今となっては懐かしい思い出です。日本には、神事が生活に結び付いた行事となっているものがたくさんあります。祖先から脈々と受け継がれている伝統は、世界に誇れる日本文化の一つで、大切にしていきたいですね。(ひでひこ)



議会報編集特別委員会

- 委員長 高橋裕子
- 副委員長 白橋和博
- 委員 岩川英彦
- 委員 川崎